

事務事業名		中心市街地活性化基本計画策定事業		所属部	建設部	所属課	都市建築課
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	都市計画G	課長名	嘉本俊一
	施策名	(09)都市・住まいづくりと土地利用の推進		担当者名	保科浩二	電話番号	0854-40-1064
	目的:対象	市内全域	意図	有効かつ効果的に利用・整備する。		(内線)	3745
	基本事業名	(027)中核拠点ゾーンの整備促進		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	0 1 4 0 0 6 中心市街地活性化事業	
目的:対象	中核拠点ゾーン	意図	都市機能拠点を整備する。		項 目 中事業 中事業名	2 0 2 0 0 1 中心市街地活性化基本計画策定事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (26年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市の顔となる中心市街地の設定と活性化を目的とし、住民ニーズや地域の課題を踏まえた雲南市独自の中心市街地活性化基本計画を策定する。 平成26年度から着手し、平成27年度には内閣府の認定を目指す。 認定後は、活性化に必要な整備(ハード・ソフトともに)を実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動)	27年度計画(27年度に計画する主な活動)		
	② 活動指標	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 庁内検討会議	回		0	3
	イ ワークショップ	回		0	2
	ウ 活性化協議会	回		0	3
	エ				

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	中心市街地活性化基本計画	ア 中心市街地活性化基本計画	本			0	1
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)	
平成26年度から27年度にかけて素案を策定し、それをもって27年度中に内閣府の認定を目指す。	ア 策定進捗率	%			30.0	100.0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)	
委託料: 4,536千円 事務費: 709千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			5,245	3,500
		事業費計(A)	千円			5,245	3,500
	人件費	正規職員従事人数	人			3	
		延べ業務時間	時間			100	
		人件費計(B)	千円			389	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			5,634		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
平成26年の関係法令改正により、認定要件が緩和され、小規模の市町村でも取り組みやすくなった。 雲南市においても、中心市街地の整備に取り組む必要性が高まっている。	特になし	基本計画の策定まで、法定協議会の意見や住民の意見を反映させていく。

事務事業名	中心市街地活性化基本計画策定事業	所属部	建設部	所属課	都市建築課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	計画は、法定協議会や庁内検討会議を経て策定していくので、これ以上向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	総合計画や都市計画マスタープランに基づき基本計画を策定するため、廃止や休止はあり得ない。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業なし。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	経費を節減するためにも、早期策定および大臣認定を目指している。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最低限の人員で取り組んでいる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	雲南市が位置付ける中心市街地エリアについて計画するので公平・公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
当初計画通り、H27年度中に策定を完了し、総理大臣認定を目指す。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		